健康だより ―――――――――――――― ●胃がん編

保健福祉課 保健師　松本・原田

日本人の死因第1位は悪性新生物（がん）です。また、2人に1人ががんにかかり、男性の約４人に１人、女性の約6人に1人ががんで亡くなると言われています。
今回はがんの中でも、かかる人が1番多い胃がんについてご紹介したいと思います。

≪胃がんのリスクと原因≫

・ピロリ菌の感染
・食塩の過剰摂取
・喫煙　など

塩分はピロリ菌の発がん作用を増強させます！（食塩が胃粘膜の性質を変化させ、ピロリ菌の感染による胃の炎症を強めるためとされています）

＜どれくらいの人が胃がんに罹っているの？＞

平成26年度のがん予測罹患数は、全国で88万人と言われており、そのうち胃がんの罹患者数は13万人と推測され全体の約15%に上ります。（がんの統計'14より）
八雲町では年間約70名の方が「がん」で亡くなっており、そのうち胃がんは10名程を占めています（道南地域保健情報年報より）。胃がんの初期には症状がないため、症状が出た時には既に手遅れ…ということも。しかし、早期発見・適切な治療をすればがんは完治することが出来ます。早期発見での5年生存率は97%と言われています。八雲町では検診で胃がんが見つかる人は数年に1名程度ですが、検診で見つかった方の5年生存率は過去10年間では100%です。

＜胃がんを予防するためには＞

野菜や果物に含まれているビタミンCやベータカロチン、緑茶に含まれるカテキンを摂取することです。
また、規則正しい生活習慣をすることも大切です。
そして年に1回はがん検診を受けることが大切です！

がんを予防する12ヵ条

＜胃がん検診の検査方法は？＞

町では胃がん検診として胃Ｘ線検査（バリウム検査）を実施しています。
☆胃・大腸がん検診を実施しています(要予約)
八雲地域～平成27年9月12日（土）～16日（水）、
11月16日（月）～20日（金）
平成28年1月27日（水）～28日（木）
熊石地域～平成27年10月6日（火）～7日（水）

ピロリ菌検査は血液に抗体があるかどうかを調べる検査で、あくまでも胃がんのリスクを調べるものです。ピロリ菌検査は住民検診の際に実施しています。がんを発見するにはバリウム検査や胃内視鏡検査（カメラ）が必要です。

八雲町の胃がん検診受診率は10%程度です。全国の胃がん検診受診状況は男性45.8%、女性は33.8%となっております。（国民生活基礎調査より）
八雲町健康増進計画では平成36年度までに20%以上の検診受診率を目指しています。早期発見・早期治療のために皆さんぜひ検診を受けましょう!!

【問い合わせ先】保健福祉課健康推進係（シルバープラザ内）　☎0137−64−2111